

C型肝炎ウイルス検査を 受けられる方に

改訂2版 2008年4月



C型肝炎ウイルス (HCV)とは？

肝炎を起こす原因にはいろいろありますが、わが国ではそのほとんどが肝炎ウイルスの感染によるものとされています。ウイルス肝炎のうち、C型肝炎ウイルス(HCV)の感染によるものをC型肝炎と呼びます。

C型肝炎は、かつて非A非B型肝炎と呼ばれていたものの1つですが、1988年に原因となるウイルスが発見

されてC型肝炎ウイルス(HCV)と名づけられ、翌1989年から検査ができるようになり、1990年代半ばから今日使われている検査法が確立しました。今日では、かつて非A非B型肝炎と呼ばれていたものほとんどがC型肝炎ウイルス(HCV)の感染によるものであることが明らかにされています。